

42 魅力ある商店街づくり

(1) 魅力的な商店街づくりを進める

平成20年度に113商店会（会員数5,195人）あった区内商店会数が、27年度には103商店会（会員数4,296人）に減少している。また、商店街には、170店舗を超える空き店舗が存在する。

商店街の人材不足や空き店舗の存在等、商店街を取り巻く課題に対応するための取組が求められている。

●魅力ある個店づくり

商店街を構成する個店の意欲的な取組を支援し、商店街の核となる個店・人材を育成し、魅力ある個店づくりを進めている。

平成27年度は、練馬区商店街連合会が実施した2回の「まちゼミ」（店主等が講師となり、プロならではの知識や情報を伝える講座を開催する事業）に対し、補助金を交付するなどの支援を行った。

●特色のある商店街づくり

商店街同士の連携強化を進め、複数の商店街が合同で行う地域の特色を活かした取組を支援し、特色のある商店街づくりを進めている。

平成27年度は支援を行う2地域（練馬駅周辺地域、大泉学園駅周辺地域）を決定した。28年度から支援を開始する予定である。

●プレミアム付お買物券発行への支援

国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金等を活用し、区内商店街をはじめとする小規模店舗への好循環を促し、地域経済の活性化を進めるため、練馬区商店街振興組合連合会による20%プレミアム付練馬区内共通お買物券の発行を支援した。



〔通称「ねり丸お買物券」〕

●商店街振興への取組

1 商店街のイベントや環境整備等への支援

商店会が、商業活動の活性化や近隣住民との交流を目的に実施する各種イベント事業や、快適な商環境づくりを目的に実施する環境整備事業等に対し、補助金を交付するなどの支援を行った。

また、商店街通行者や地域の安全安心な環境整備に

寄与している商店街の街路灯等について、商店会が行う修繕経費や維持費（電気代等）の一部を助成した。

2 商店街空き店舗利用の促進

商店街における空き店舗の存在は、商店街自体の魅力や集客力の低下を招く。そのため、空き店舗の解消を図り、商店街のにぎわいをもたらすため、空き店舗利用を促進する必要がある。

空き店舗を活用し、産直販売を実施する事業やコミュニティスペースを運営する事業等に対し、補助金を交付するなどの支援を行った。

また、空き店舗を活用し、新たに起業をする事業者に対しても支援を行っている。平成27年度から、練馬区産業振興公社に事務を移管した。（産業振興公社については162ページを参照。）

〔商店街振興事業実績〕

平成27年度

支援（助成）内容	商店会数	事業数
イベント事業	64	138
環境整備等事業	6	7
街路灯等修繕・塗装	2	2
街路灯等維持費	77	77
空き店舗活用産直販売事業	5	8
空き店舗コミュニティスペース整備等事業	2	2

●商店街連合会等との連携

区内商店会の連合組織である練馬区商店街連合会や練馬区商店街振興組合連合会と連携し、商店会活動の充実や区内商業の振興発展を進めている。

27年度は、商店街連合会の開催する「商業まつり」（年2回）や団体ニュース発行事業に対し、補助金を交付するなどの支援を行った。